

不要なオプションが付けられていた携帯電話の契約は慎重に

携帯電話の買い替えなどの際、不要なオプションが付けられていたといった相談が寄せられています。

事例を紹介します

- ・機種変更のために携帯電話ショップに出かけ、同系列のキャリアが提供する端末を熱心に勧められ契約した。その後、契約書を確認したところ、断ったはずのオプションなどが付けられているうえ、セキュリティソフトも契約させられていた。納得できない。(60歳代)

契約の際には、契約内容をよく確認し、よく分からない場合は契約しないようにしましょう。オプション等を勧められた際も、必要ない場合はきっぱり断りましょう。

契約書もその場でよく確認し、不要な契約がないか、月々の支払額はいくらになるかなどを確認しましょう。

不要なオプションを契約させられている場合は、すぐにショップに解約を申し出ましょう。困ったときは、お早めにお住まいの自治体の消費生活相談窓口にご相談ください（消費者ホットライン 188）。

（参考：国民生活センターウェブサイト）

